



特許証

(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第5574243号

(PATENT NUMBER)

発明の名称
(TITLE OF THE INVENTION) 泡状クーラント液による研削方法と研削装置

特許権者
(PATENTEE) 愛知県春日井市高蔵寺町6-1-25

伊藤 幸男

発明者
(INVENTOR) 進藤 茂實
八尾 泰弘

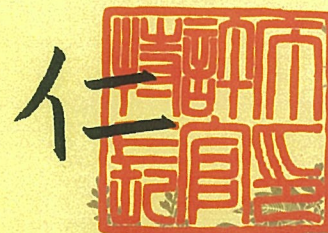
出願番号
(APPLICATION NUMBER) 特願2011-068787
出願日
(FILING DATE) 平成23年 3月 8日(March 8, 2011)
登録日
(REGISTRATION DATE) 平成26年 7月11日(July 11, 2014)

この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

平成26年 7月11日(July 11, 2014)

特許庁長官
(COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

伊藤 幸男



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号
特開2012-187700

(P2012-187700A)

(43) 公開日 平成24年10月4日(2012.10.4)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 2 4 B 57/02 (2006.01)	B 2 4 B 57/02	3C011
B 2 3 Q 11/10 (2006.01)	B 2 3 Q 11/10 Z	3C043
B 2 3 Q 11/00 (2006.01)	B 2 3 Q 11/00 L	3C047
B 2 4 B 7/00 (2006.01)	B 2 4 B 7/00 Z	

審査請求 未請求 請求項の数 7 書面 (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2011-68787 (P2011-68787)	(71) 出願人 509153364 伊藤 幸男 愛知県春日井市高蔵寺町6-1-25
(22) 出願日 平成23年3月8日(2011.3.8)	(72) 発明者 進藤 茂實 兵庫県姫路市阿保甲1-1
	(72) 発明者 八尾 泰弘 東京都港区三田二丁目二番十八号
	Fターム(参考) 3C011 EE01 3C043 CC03 DD06 EE04 3C047 FF04 GG09 GG15

(54) 【発明の名称】 泡状クーラント液による研削方法と研削装置

(57) 【要約】

【課題】 被加工物の防錆、洗浄、腐敗防止効果と研削屑の泡状クーラント液への吸着効果・分離効果を高めるとともに、設備の低減・ランニングコストの低減を図った泡状クーラント液による研削方法と研削装置を提供する。

【解決手段】 不活性ガスを電着砥石10の中心部10Aから砥石10B内を浸透して砥石外周面10Cに噴出させ、クーラント液Kは天然石鹼系発泡剤Sを混入した強アルカリ性液K1とし、この強アルカリ性液を上記砥石両側面から外周面に向けて噴射時に泡立ち作用させて泡状クーラント液K0とし、上記泡状クーラント液は電着砥石の加工点P及び全外周面を包囲して無酸素状態で冷却及び研削屑吸着する泡状クーラント液による研削方法・研削装置100とした。

【選択図】 図1

